

PROFILE

関根洋幸

(せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University 留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書

2015年習志野市議会議員初当選

2019年習志野市議会議員二期目当選

家族:妻、一男

(母はきらっとサンバ振り付けの桜丘けい子)

趣味:ダンス、スポーツ全般

好きな言葉:為せば成る

小林鷹之衆議院議員も応援しています。

谷津生まれ、谷津育ち。「無縁社会」が広がる中で谷津そして習志野の地域の絆を強めたい。その可能性に挑戦したい。ふるさとの未来を切り拓く使命感と地元愛に溢れる青年です。批判ではなく提案。言葉ではなく行動。共に汗してきた私としても、突破力ある関根ひろゆき君は習志野の未来を託せる逸材だと確信しています。

衆議院議員

小林鷹之

討議資料



発行:関根ひろゆき後援会
習志野市谷津5-29-6
☎&📠:047-779-4092

役職

習志野市議会

・協働経済常任委員会 副委員長

・議会運営委員会 委員

・都市計画審議会 委員

その他の役職

・千葉県自衛隊協力会連合会青年部会 理事

・習志野市自衛隊協力会 理事

・公益社団法人習志野青年会議所 理事

・習志野市国際交流協会 理事

・谷津西部連合町会 顧問

・谷津汐見台町会 顧問

・谷津五丁目町会 文化部長

・谷津サンプラザ商店会 顧問

・谷津囃子 会員

・青葉幼稚園父母の会 会長



習志野市議会議員 関根ひろゆき

今こそ若い力で
新しい習志野。



関根ひろゆき No. 49 習志野市の財政状況
Report

令和3年度収入の部

習志野市の状況を表したもの			家計に置き換えた場合		
				年間	1ヶ月
自主財源	市税・使用料・財産収入など	346億4,704万2,000円	給料	300万円	25万円
	繰入金	13億1,740万5,000円	貯金の取り崩し	11万4,000円	1万円
依存財源	国県支出金・地方交付税など	273億9,914万5,000円	年金や児童手当、奨学金など	237万2,000円	19万8,000円
	市債	52億1,385万8,000円	借入金	45万1,000円	3万8,000円
収入の合計		685億7,745万円	収入の合計	593万7,000円	49万6,000円

上の表を見てみると、給料(市税など)だけでなく色々な種類の収入があることがわかります。

例年、給料が全体の約6割を占めていますが、令和2年度から年金や児童手当などの割合が例年と比較すると高くなりました。

これは、新型コロナウイルス感染症対策に係る国庫支出金が大幅に増加したことによるものです。

その他、貯金の取り崩し(繰入金)や、国や金融機関等から借り入れ(市債)をしています。

関根ひろゆきの考え

習志野市は市民の皆様の税金で成り立っているベッドタウンとしての側面が強い街です。

今後も現在の行政サービスを維持し、持続可能な習志野市を創っていくためには、いかに多くの方々に習志野市に住んでいただくかが重要です。

そのための政策として一番注力していくべきは「子育てと教育」です。

習志野市とほぼ同じ特性を持つ兵庫県明石市では「子育てと教育」に力を入れた結果、現役世代の人口増加を実現し、高齢者サービスの更なる充実や公共施設の充実、地域経済への更なる投資を図ることが出来ております。

習志野市の特性上、大企業の本社の誘致や観光地としてのインバウンドを期待することも現状難しいことを鑑みると、「子育てと教育への投資」、また「創業、起業のまち習志野」として多くの地元企業の育成が必須と考えます。

誰一人取り残さない習志野を目指すために、今後も「子育てと教育」、「地元企業の育成」に力を注いでいきます。

令和3年度支出の部

習志野市の状況を表したもの		家計に置き換えた場合		
			年間	1ヶ月
人件費	131億6,229万円	食費	114万円	9万5,000円
公債費	50億9,953万2,000円	借金の返済	44万2,000円	3万7,000円
扶助費	188億2,240万3,000円	医療費	163万円	13万6,000円
物件費	113億9,791万1,000円	光熱水費や消耗品など	98万7,000円	8万2,000円
普通建設事業費、維持補修費	56億1,231万5,000円	家の増改築・補修費	48万6,000円	4万1,000円
繰出金	44億3,596万8,000円	1人暮らしの家族への仕送り	38万4,000円	3万2,000円
補助費等、投資及び出資金・貸付金	45億9,945万3,000円	その他の生活費	39万8,000円	3万3,000円
積立金	15億8,145万8,000円	貯金	13万7,000円	1万1,000円
支出の合計	647億1,133万円	支出の合計	560万4,000円	46万7,000円

支出の中で食費(人件費)については、全体の約20.3%を占めています。

生計費中に占める食費の割合を示す係数のことをエンゲル係数と言いますが、習志野市はそのエンゲル係数が高いと言えます。習志野市は文教住宅都市憲章を掲げ、公立の幼稚園、保育所、こども園、習志野高校などを運営しているので、そこで働く職員が必要となるためです。

光熱水費や消耗品など(物件費)は、上記の施設をはじめ、小学校、中学校、公民館、図書館などの施設に係る維持費が多くかかっています。また家の増改築・補修費(普通建設事業費、維持補修費)も、たくさんの施設が老朽化していることでお金が必要になっていきます。

他には家族の医療費(扶助費)や、借金の返済(公債費)、1人暮らしの家族への仕送り(繰出金)も必要です。